

東日本大震災の発生から2年を迎えました。

改めて、この震災によりお亡くなりになられた方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対しまして、心から御見舞を申し上げます。

また、ふるさとを離れ長期間にわたり避難生活を送られている皆様には、大変な御不便と御不安の中で日々を過ごされているものとその心中をお察しいたしますとともに、新長田音楽プロジェクト実行委員会の皆様をはじめ、阪神淡路大震災からの復興に取り組まれた経験をもつ神戸市の皆様が一体となって、このたびの震災で避難されている方々へ温かい御支援をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

東北地方太平洋沖地震と大津波、さらには4月11日及び12日に発生いたしました余震は、本市に甚大な被害をもたらし、多くの尊い命や、貴重な財産を奪い去りました。また、これに伴い発生した福島第一原子力発電所における事故は、今なお、多くの市民の皆様には不安を与え、事業活動にも様々な影響を及ぼしている状況にあります。

本市は震災後、目指すべき「復興の姿」を示す「いわき市復興ビジョン」の策定に早期に取り組むとともに、「復旧計画」及び「復興事業計画」を策定し、全市一丸となって復旧・復興を進めて参りました。

本年は、当該ビジョンに掲げる復旧期の最終年、復興期の中間年に当たりますことから、これらを着実に推進するとともに、市内の各地で槌音が響きわたる「復興事業元年」として、本格的な復興に向けた歩みをより一層加速させて参りたいと考えております。

避難されている皆様には、本市の復旧・復興状況や放射線量、地域のイベントなどの情報を、月1回実施しております郵送による情報発信に加え、デジタルフォトフレームを活用した情報発信により、「いわきの今」を引き続きお届けして参ります。

皆様におかれましては、健康に留意され、再びふるさと「いわき」に戻られることを心よりお待ち申し上げます。

平成25年3月11日

いわき市長 渡辺敬夫